



会報（2024年7月～9月）

【第2582回例会 7月11日・浪江町商工会】



新旧会長・幹事のバッジ交換の後、小黒敬三会長の年度がスタートした。小黒会長は地区委員や各委員会の委員長への委嘱状に続き、本年度の方針などを発表した。泉田征慶会員が2530地区のガバナーエレクトとして活動するため、ホストクラブとして全力で支援することに加え、研修や委員会などロータリー活動の活性化に向けた思いを語った。本年度はクラブ創設55周年にもあたるため、会員のさらなる団結を呼び掛けた。

【第2583回例会 7月25日・浪江町商工会】



7月後半の例会で、苗村茂樹会員（日

本生命保険）が卓話した。苗村さんは東日本大震災を巡り、2011年3月11日に浪江町の請戸海岸の堤防で津波が来襲するのを目撃し、奇跡的に難を逃れたことなどを語った。避難生活を余儀なくされ、後に勤務地が和歌山県や兵庫県など関西圏に移っても、浪江ロータリーを辞めることを考えなかったことなどを振り返った。また、クイズ形式で保険についてのさまざまな話題を提供した。

【第2584回例会 8月8日・浪江町商工会】



8月前半の例会では、福島国際教育研究機構（エフレイ）の野口康成執行役がゲスト卓話をした。エフレイは、東日本大震災からの産業再生などの要となる組織として、浪江町に整備が進められている。野口執行役は、エフレイが目指している研究開発の方向性などについてわかりやすく解説した。このほか、2530地区会員増強委員会の西山由美子副委員長らのメーキャップ出席があった。



【第2585回夜間例会・納涼親睦会
8月22日・きち傳】



8月後半の例会は、夜間例会・納涼親睦会として福島市のきち傳で開かれた。参加者はきち傳の美食、美酒を味わいながら、互いの親睦を深めていた。例会に先立ち行われた親睦ボーリング大会では、松原茂会員が優勝の栄冠を勝ち取った。

【第2586回例会 9月5日・浪江町商工会】

9月前半の例会は、19日に予定されている早川敬介ガバナーの公式訪問を控え、事前研修会として開かれた。

【第2587回例会 9月19日・浪江町商工会】

9月後半の例会は、2530地区早川敬介ガバナーの公式訪問例会として開かれた。例会に先立つクラブ協議会では、各委員長らが早川ガバナーに活動の方針などを説明し、講評や助言を受けた。例会では、2530地区の運営方針に加え、PTA活動を経てロー

タリーに入会し、青少年育成などに力



を入れてきたことなどを語った。記念撮影の後、会員が列を作ってガバナーを見送った。

また、例会などの席札は、書家である松崎俊憲会員が担当し、内閣総理大臣賞に輝いた卓越した書体で凜とした空間を作り出していた。

7～9月の新会員

會澤高圧コンクリート（株）地域連携
室長の佐藤一彦さんが入会しました。



浪江ロータリークラブ

設立 昭和45年1月9日

例会日時 隔週木曜日

12:30～13:30

例会場 浪江町商工会

テリトリー 浪江町・双葉町
大熊町・葛尾村